

## 【三鷹市】胃がん検診（胃部エックス線検査）平成28年度プロセス指標等一覧シート

## &lt;国の指針に基づく胃がん検診の実施状況&gt;

対象年齢（50歳以上：隔年） ※胃部エックス線検査は40歳以上に毎年実施可	している
検査方法（胃部エックス線検査）	している
検査方法（胃内視鏡検査）	していない

## &lt;住民の検診受診状況&gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	33,436	38,325	71,761
【東京都調査による対象者率（市町村部）：56.4%】			
実際の受診者数	372	599	971

※<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>は平成29年度の状況である

## &lt;がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）&gt;

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	2.7%	3.8%	3.3%
要精検率	11%以下	13.4%	8.5%	10.4%
精検受診率	70%以上	82.0%	86.3%	84.2%
精検未把握率	10%以下	18.0%	13.7%	15.8%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.0%以上	0.0%	0.0%	0.0%
がん発見率	0.11%以上	0.00%	0.00%	0.00%

## &lt;国の指針に基づくもの以外の実施状況&gt;

対象年齢以外の実施	胃部X線（30～39歳）
左記以外の検査の実施	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査

## &lt;区市町村の受診率向上（精検含む）体制&gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

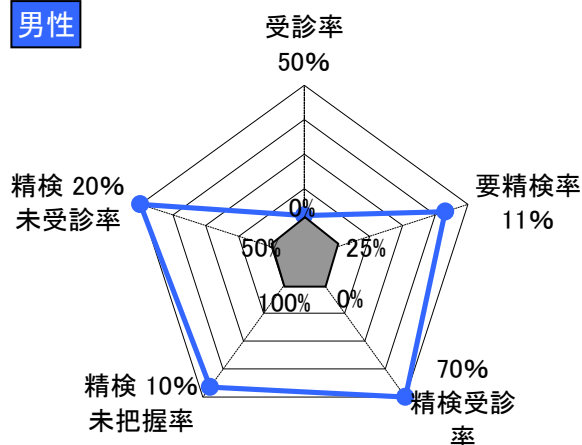
プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

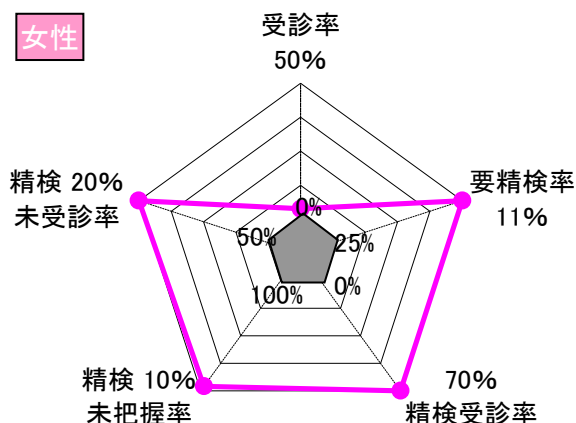
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

## 男性



## 女性



## 【評価結果】

## &lt;受診率&gt;

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt;要精検率&gt;

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

## &lt;精検未把握率&gt;

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

## 【三鷹市】肺がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく肺がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（胸部X線検査及び喀痰細胞診）	している

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	48,984	53,652	102,636
【東京都調査による対象者率(市町村部): 63.5%】			
実際の受診者数	172	137	309

### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

※<国の指針に基づく肺がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	0.6%	0.4%	0.5%
要精検率	3%以下	0.6%	0.0%	0.3%
精検受診率	70%以上	0.0%	-	0.0%
精検未把握率	10%以下	0.0%	-	0.0%
精検未受診率	20%以下	100.0%	-	100.0%
陽性反応適中度	1.3%以上	0.0%	-	0.0%
がん発見率	0.03%以上	0.00%	0.00%	0.00%

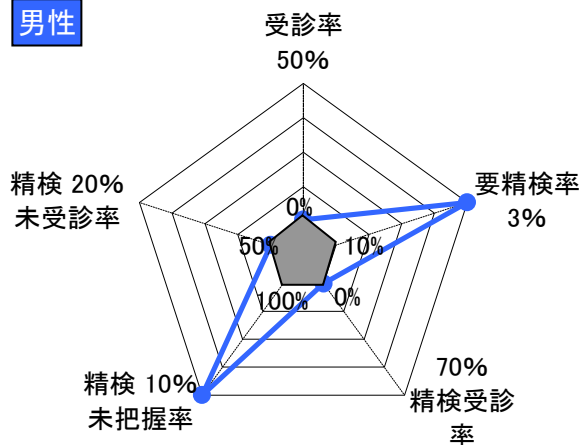
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

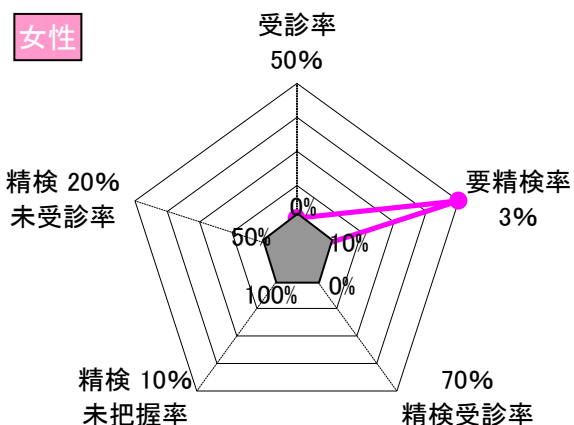
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

#### 男性



#### 女性



### 【評価結果】

#### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

#### <精検未受診率>

精検未受診率が高いため、精検受診勧奨を行うなど精検未受診者を減らす取組が重要です。

## 【 三鷹市 】 大腸がん検診 プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（便潜血検査(二日法)）	している

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	48,984	53,652	102,636
【東京都調査による対象者率(市町村部)：59.6%】			
実際の受診者数	8,367	12,873	21,240

### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

※<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	28.7%	40.3%	34.7%
要精検率	7%以下	12.8%	9.3%	10.7%
精検受診率	70%以上	35.6%	37.6%	36.7%
精検未把握率	10%以下	64.4%	62.4%	63.3%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.9%以上	1.5%	1.5%	1.5%
がん発見率	0.13%以上	0.19%	0.14%	0.16%

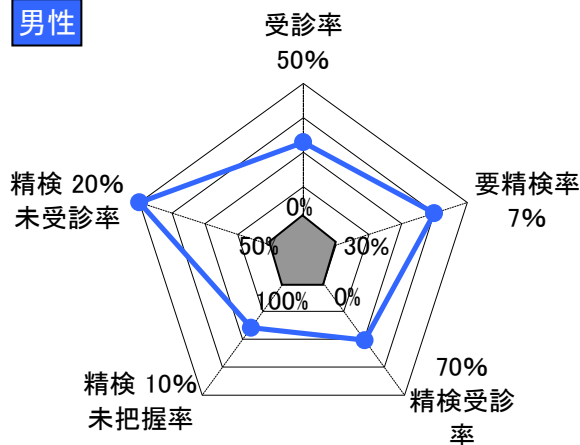
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

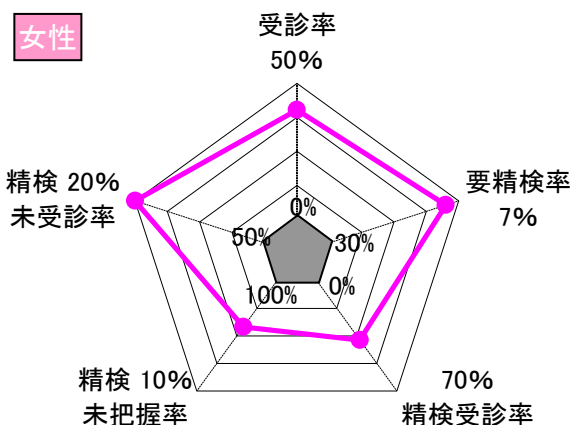
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

#### 男性



#### 女性



### 【評価結果】

#### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

#### <精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

#### <精検未把握率>

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。

## 【 三鷹市 】 子宮頸がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

対象年齢（20歳以上：隔年）	毎年
検査方法（細胞診）	している

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		78,706	
【東京都調査による対象者率(市町村部)：60.4%】			
実際の受診者数		4,165	

※<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		14.3%	
要精検率	1.4%以下		1.1%	
精検受診率	70%以上		77.8%	
精検未把握率	10%以下		22.2%	
精検未受診率	20%以下		0.0%	
陽性反応適中度	4.0%以上		0.0%	
がん発見率	0.05%以上		0.00%	

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	間隔について毎年実施
左記以外の検査の実施	していない

### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

### プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

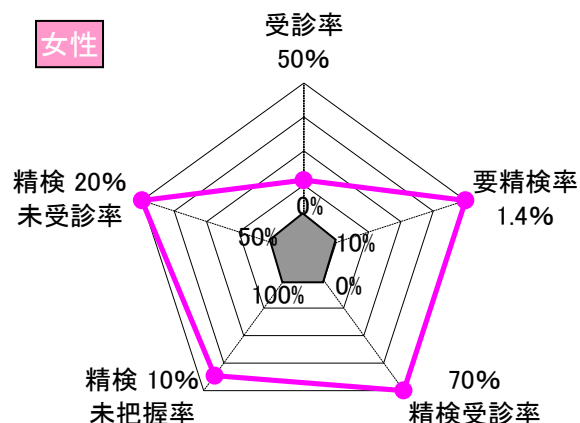
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

### 【評価結果】

#### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。



#### <精検未把握率>

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

## 【 三鷹市 】 乳がん検診 プロセス指標等一覧シート

## &lt;国の指針に基づく乳がん検診の実施状況&gt;

対象年齢（40歳以上：隔年）	している
検査方法（マンモグラフィ）	している

## &lt;住民の検診受診状況&gt;

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		53,652	
【東京都調査による対象者率(市町村部)：63.9%】			
実際の受診者数		2,276	

※<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

## &lt;がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)&gt;

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		14.6%	
要精検率	11%以下		14.2%	
精検受診率	80%以上		85.2%	
精検未把握率	10%以下		14.8%	
精検未受診率	10%以下		0.0%	
陽性反応適中度	2.5%以上		2.2%	
がん発見率	0.23%以上		0.31%	

## &lt;国の指針に基づくもの以外の実施状況&gt;

対象年齢以外の実施	30～39歳
左記以外の検査の実施	マンモグラフィまたは 超音波検査(選択制)

## &lt;区市町村の受診率向上(精検含む)体制&gt;

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	していない
過去5年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

## プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

## 【評価結果】

## &lt;受診率&gt;

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

## &lt;要精検率&gt;

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

## &lt;精検未把握率&gt;

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

女性

